



古閑の地藏堂に集まった皆さん。前列左から北村さん、福永さん、福岡常子さん、中列左から楠田清美さん、坂澤さん、奥は松岡さん

ちよつとそいまで

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



昨年4月に再建された古閑の地藏堂



地藏堂の手前には放牛地藏と猿田彦大神碑があります



皆さんは北村さんが手作りした料理で「プチ堂づめ」を楽しみました

路傍に咲くイヌノフグリやホトケノザを見つけ
るこの季節は心が自然と浮き立ち、散歩の足取
りも軽くなります。今回は古閑地区を巡ります。



女性の祭り 「堂づめ」

広安校区にある古閑地区。道路拡
幅工事が進む県道熊本高森線から、
豊富地区と古閑地区の間を南北に
流れる妙見川沿いを北上します。

集落の入り口には地藏堂、放牛
地藏(僧の放牛が亡き父の霊を弔
うため県内各所に祭った地藏)、猿
田彦大神碑(道案内の神様)が鎮
座しています。その中で、3年前
にこの散歩で訪れた「古閑の地藏

堂」が新しいたたずまいを見せて
いました。

この地藏堂は熊本地震で被災
し、昨年4月に再建されました。
お堂の復旧を心から待ち望んでい
たのは、93歳になる北村ムツエさ
んを始め、3年前にここで出会っ
た懐かしい顔ぶれの皆さんです。
北村さんは「ここは地元の人たち
の交流の場。こうして立派に再建
され、ほんにうれしかです」と顔
をほころばせます。

「古閑の地藏堂」はかつての寺
跡に再興されたもので、境内の灯

籠には「奉寄進・中村隆以元禄12
(1699)年」と記されています。
「昔から子どもたちの遊び場で、子
ども好きの地藏さんだけ、ここ
で子どもたちがケガした話など聞
いたことがなかつた」と福永桂子
さん。

お堂では毎年正月と5月、9月
に行われる『堂づめ』という習わ
しが残っています。「堂づめは女
性の祭りで、昔は村の女の子たち
が家々を回って米や野菜をいただ
き、それで精進料理ばこしらえて
ふるまいよつたです」と坂澤トミ
子さんが振り返ります。

「夜まで祭りが続いて、子ども
心に楽しかったことを覚えていま
す」と話すのは、松岡由美さんで
す。また松岡さんは「思いを一つ